

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部福祉課	評価者職氏名	課長 高橋 清治	評価日	令和3年7月5日
-------	--------	--------	----------	-----	----------

施設名称	江刺総合コミュニティセンター	施設所在地	奥州市江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	文化活動、社会福祉の研修等を行うことにより、障がい者、高齢者等全ての市民の相互理解と交流の活性化を図り、もってノーマライゼーションの理念の普及高揚に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ホールや会議室の使用等による生涯学習の場となるコミュニティエリアと障がい福祉サービス事業所があるリハビリエリアからなる施設である。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺総合コミュニティセンター	33,138	30,021	28,266	15,477	54.8	
(計)	33,138	30,021	28,266	15,477	54.8		
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度当初は、館内利用を中止としたこと、利用者の定員制限を設けたこと、各種団体が感染症拡大防止のため活動を自粛したことが利用者の減少要因となった。 和室のエアコンが故障しているため、特に夏季の利用に影響があった。 視聴覚室のエアコンを修繕し、利用環境の改善を図った。 							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)		
収入	指定管理料	29,434,000		29,434,000	使用料	5,916,000	使用料	4,321,600	
	利用料金	328,070		328,070	賃貸料		賃貸料		
	自主事業		20,855	20,855	その他		その他		
	雑収入	78,000		78,000					
	計	29,840,070	20,855	29,860,925	計(A)	5,916,000	計(A)	4,321,600	
	支出	人件費	8,319,180		8,319,180	指定管理料	29,434,000	人件費	
		需用費	13,904,550		13,904,550	委託料		委託料	27,018,140
		役務費	1,091,991		1,091,991	需用費		需用費	
		委託料	5,682,461		5,682,461	その他		その他	
		使用料・賃借料	81,058		81,058	計(B)	29,434,000	計(B)	27,018,140
租税公課		756,300		756,300	支出(B-A)	23,518,000	支出(B-A)	22,696,540	
その他諸費		25,385		25,385	維持修繕費		維持修繕費		
計		29,860,925	0	29,860,925	備品購入費		備品購入費		
損益	△ 20,855	20,855	0	計(C)	0	計(C)	0		
職員配置	常勤職員	1.8 人			市の正職員	0 人			
	非常勤職員	0 人			市の臨時・非常勤職員	0 人			

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	2,339,765	2,011,695	328,070

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	27.9 %	R2年度指定管理者損益	0 円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,901.8 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			△ 821,460 円	評価
	市直営時(H17)と比較すると消費税率の変化に伴い需用費や委託料が上がっていることから単純に直営時との比較は難しい。前年度と比較すると効果は得られている。また、施設の老朽化による維持修繕費により、全体的な支出額がその年によって増減する状況に変わりはない。	〔行革効果額の積算根拠〕				4
			R2	R1	比較	
		直営支出額	22,696,540	22,696,540	0	
市支出額		23,518,000	23,498,000	20,000		
効果額	△ 821,460	△ 801,460	△ 20,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	【内容確認】 ・施設の使用許可等に関する業務 ・施設の使用に係る使用料金の徴収に関する業務 ・施設の維持管理に関する業務	○		3
自主事業	【内容確認】 ・福祉関係団体の活動支援	○	・ヒロノ福祉パーク祭の実施 →新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	【以下、内容確認】 火災警報器の更新や利用者の利便性の確保に努めた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	(財)東北電気保安協会岩手県事業本部に委託し、月次点検(需要施設2ヵ月1回)、年次点検、臨時点検を実施した。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	江刺衛生会に委託し、日常清掃、全館清掃(週1回)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年2回)を実施した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節水・節電を積極的に行い、経費の節減に努めた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有管理者賠償責任保険(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)に加入し、補償体制をとった。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	江刺総業(株)へ委託し年4回の作業実施するとともに、定期的に利用団体へ呼びかけて草取りボランティアを実施した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例に従い、利用者に対し使用許可・減免等を適切に行った。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	ホームページや広報誌に掲載し、利用周知を図った。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	速やかな受付及び貸出に努めた。条例に定めのない物品は本会の物品を無料で貸し出しするなどし、利用者の利便性向上に努めた。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	本会の苦情解決規定により、苦情受付体制をと問えた。即時対応が可能な件についてはその場で対応を図った。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	ヒロノ福祉パークまつりが中止となった。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のためやむを得ず中止した。	
施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	市への定期報告(月1回)を行った。		○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市個人情報保護条例、奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき対応した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	岩手信号防災(株)に委託し、機器点検(年1回)、総合点検(年1回)を実施した。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	ALSOK岩手(株)へ委託し、外部からの侵入を漏れなく監視し得るよう機器を設置した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に従い、年2回避難及び消火訓練を実施した。	○	

5 利用者評価

利用者 アンケート	実施の有無	有	評価
	調査内容	施設利用者に対するアンケートを実施した。	
	調査結果	回答94件。月ごとに集計し、内容を確認した。	
利用者評価 要望・苦情等	良好とする評価	【室温】平均評価：良い 【照明】平均評価：良い 【設備等】平均評価：良い 【対応等】平均評価：大変良い 【今後の利用】平均評価：今後も利用したい 【アンケート事由記述内容】 ・いつもありがとうございます 2件 ・暖房器具の用意ありがたい 1件 ・高齢者の活動場所として良いため今後も使用したい 1件	
	苦情・改善要望等	【室温】悪い・大変悪い：3件（会議室、和室、ボランティア室） 【照明】悪い：3件（ホール、和室） 【施設等】大変悪い：1件（会議室） 【対応等】大変悪い：1件（委託先の対応） 【アンケート事由記述内容】 ・タバコのおいが気になる 和室：2件 ・窓ガラスやサンの汚れが気になる 和室：1件 ・アリの発生する 和室：1件 ・照明が暗い ホール：1件 ・エアコンの調子が悪い、故障 視聴覚室：1件 ・玄関の環境整備（消毒液、凍結防止対応）：1件	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	4		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	指定管理制度の導入によって、直営時よりは若干の支出はあるが、適切な施設管理が行われていることから行革の効果が上がっていると判断する。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	施設の更新や修繕については、必要性、緊急性を判断しながら計画的に進めていきたい。	令和2年度は視聴覚の空調機を更新した。	優先度を見極めながら、引続き計画的な施設の更新・補修を行う。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	長寿社会課	評価者職氏名	課長 千田 嘉宏	評価日	令和3年6月11日
-------	-------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	水沢高齢者創作館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	奥州市老人クラブ連合会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の生きがいと創造意欲の高揚	指定管理料の有無	有
施設概要	木工部、陶芸部、手芸部、園芸部、わら細工部	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価	
	水沢高齢者創作館	2,467	2,472	2,126	2,156	101.4		3
(計)	2,467	2,472	2,126	2,156	101.4			
〔利用者の増減理由〕 コロナウイルス感染拡大に伴い活動が中止となったこともあって、一時期利用者数が減少した。しかし、新聞等で当該施設の活動を紹介したことで新入会員が増加し、各部の活動が活発となったため、年間利用者数は例年通りとなった。								

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)		
収入	指定管理料	2,863,000		2,863,000	使用料		使用料		
	利用料金			0	賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0	その他		その他		
	雑収入	30,783		30,783					
	計	2,893,783	0	2,893,783	計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	1,080,000		1,080,000	指定管理料	2,863,000	人件費	
		需用費	565,304		565,304	委託料		委託料	
		役務費	26,627		26,627	需用費		需用費	
		委託料			0	その他		負担金	2,995,000
		使用料・賃借料			0	計(B)	2,863,000	計(B)	2,995,000
租税公課				0	支出(B-A)	2,863,000	支出(B-A)	2,995,000	
その他諸費		4,940		4,940	維持修繕費		維持修繕費		
報償費		1,024,000		1,024,000	備品購入費		備品購入費		
備品購入費	47,592		47,592	計(C)	0	計(C)	0		
計	2,748,463	0	2,748,463	支出(B+C-A)	2,863,000	支出(B+C-A)	2,995,000		
損益	145,320	0	145,320						
職員配置	常勤職員	0 人			市の正職員	0 人			
	非常勤職員	1 人			市の臨時・非常勤職員	0 人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額						
	0	0	0						

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	39.3 %	R2年度指定管理者損益	145,320 円	評価
-----------	----------------------	--------	-------------	-----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	1,327.9 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	--------------	-----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 132,000 円			3	
	指定管理制度を導入することで、人件費の削減に伴う経費面での効果が表れている。また、相互交流や作品作りによって高齢者の生きがい対策の充実が図られている。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			R2	R1		比較
		直営支出額	2,995,000	2,995,000		0
市支出額	2,863,000	2,863,000	0			
効果額	132,000	132,000	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者の生きがいと健康づくり事業の実施	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	施設全体が老朽化しているため、早めの修繕を行い、経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者（電気・ガス）による定期点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃分担に従い、部員が自主的に責任感を持ち清掃がなされている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	水回り関係の経年劣化に漏水について、各部に周知を図り、注意して使用している。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	市が建物共済保険を付保する。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	施設周辺の雑草等の駆除を各部で行い、整備に努めている。	○	
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	水沢高齢者創作館条例に則り、適切に対応している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市老人クラブ連合会会報や社会福祉協議会の福祉だより等を活用して創作館の宣伝に努めている。また胆江日日新聞等のメディアを活用して創作館の活動を紹介したところ、大きな反響を呼んで会員増に繋がった。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	パンフレットの作成やイベントへの参加により、利用促進に当たっている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	会員との交流を図り、会員の意思を尊重しながら対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	イベントは新型コロナウイルスの感染拡大により思うように活動できなかったが、メディアを活用し利用者増に繋がった。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	日誌及び毎月活動報告書への記載によって定期報告を行っている。	○	
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な保護に努めている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	防火管理者の設置及び定期点検の義務がない施設であるが、令和2年度は点検を実施し、非常口を明示するため表示を新しいものに交換した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	創作館のきまりを遵守し、事故防止に取り組んでいる。使用の講習を実施して安全確保に努めている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	連絡網を作成し、関係機関への連絡、対応が適切に行われるように努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、避難方法について確認をしている。また消防署から指導があり、非常口表示板を設置した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	11月に避難訓練を実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	1 会員経過年数について 2 活動の成就感について 3 施設への要望 4 改善点	
	調査結果	1 会員経過年数（平均） 約9年 2 興味があることに安価で取り組み、またものづくりをすることで、自分の能力を知ることができる。活動中の談笑も良い気分転換になっている。 3 園芸部の仮設トイレが破損して使用できない状態なので対処してほしい。 4 新型コロナウイルスの感染拡大により、作品を発表する機会がなかったので、次年度は発表する機会を設けてほしい。		
	要望・苦情等	1 広報活動により令和2年度は新会員が加入したことで、少しずつ各部の活動が活性化してきている。 2 水沢高齢者創作館の看板が新しくなったことで、創作活動の拠点であることを改めて地域住民にアピールすることができた。		
	苦情・改善要望等	1 新型コロナウイルスの感染拡大が、作品の発表等の機会にどの程度影響があるか懸念している。（発表の場を求める声も挙がっている。） 2 木工部員が増えたことで機械の稼働率が高くなり、機械の故障リスクが高くなる（修繕費が増える）ことが懸念される。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の閉じこもりを防ぎ、生きがいづくりと創作意欲の高揚に貢献している。積極的な行事参加や活動が新聞で紹介される等、高齢者が地域から評価される機会にもなっている。 ・アンケートを実施し、利用者の意見や要望を取り入れながら運営にあたっており、指定管理者として適切な事業管理にあたっている。 ・安全講習の実施、避難訓練の実施、緊急時連絡網の作成など、事故等に対する防止及び発生時の対応に備えて運営を行っている。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	新規会員の加入促進	胆江日日新聞や水沢テレビ、市老連会報等のメディアを活用して広報活動を行ったことで新会員の加入に繋がった。	継続して新規会員の加入促進を図る。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	江刺総合支所健康福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 及川直也	評価日	令和3年6月10日
-------	----------------	--------	------------	-----	-----------

施設名称	江刺高齢者生産活動センター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、その生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ロビー（展示室）、竹加工室、木工室、食品加工室、陶器室、休憩室、事務室等	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺高齢者生産活動センター	1,358	1,233	1,370	1,370	100.0	
(計)	1,358	1,233	1,370	1,370	100.0		
〔利用者の増減理由〕 新型コロナウイルスの影響で1か月（5月）活動を休止したが、1回当たり参加する人数が増加し、利用実績が前年並みとなった。							

2 経費等の状況

	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
事業収支 (単位：円)	収入	指定管理料	5,768,000		5,768,000	使用料		使用料		
		利用料金			0	賃貸料		賃貸料		
		自主事業			0	歳入		その他		
		雑収入	148,659		148,659					
		計	5,916,659	0	5,916,659	計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	4,543,599		4,543,599	指定管理料	5,768,000	人件費		
		需用費	370,877		370,877	委託料	118,000	委託料	6,150,900	
		役務費	90,843		90,843	需用費		需用費		
		委託料	496,368		496,368	※経常的 その他		その他		
		使用料・賃借料			0	計(B)	5,886,000	計(B)	6,150,900	
租税公課		409,972		409,972	支出(B-A)	5,886,000	支出(B-A)	6,150,900		
その他諸費	5,000		5,000	歳出 ※臨時的	維持修繕費	121,000	維持修繕費			
					備品購入費		備品購入費			
	計	5,916,659	0	5,916,659	計(C)	121,000	計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	6,007,000	支出(B+C-A)	6,150,900			
職員配置	常勤職員	0人			市の正職員	0人				
	非常勤職員	3人			市の臨時・非常勤職員	0人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額		0					
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		76.8%		R2年度 指定管理者損益	0円			評価	
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		4,210.2円		事業目的に適合しない支出等の有無			なし	3	
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕 264,900円				評価	
	本制度の導入により、円滑に事業運営及び施設管理が図られた。 あわせて、人件費や管理費用等の運営経費の圧縮が図られた。				〔行革効果額の積算根拠〕					
						R2	R1	比較		
					直営支出額	6,150,900	6,150,900			0
市支出額	5,886,000	5,822,000		64,000						
効果額	264,900	328,900		△64,000						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用の許可に関する業務、施設及び設備の維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	陶芸教室の実施 地区文化祭での作品展示	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。小修繕はスタッフによる作業を行い経費の削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	定期点検は実施せず、異常がある際に業者へ依頼している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	活動日に業者委託により実施。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努め、適正な使用と認められた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	利用者及び職員のケガや事故のため施設賠償保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	職員、委託により定期的の実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平性は確保されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	「社協だより」や「市広報」等においてPRを実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等もなく問い合わせにも適正に対応している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	老人クラブを中心に体験学習を開催することにより、その後の利用に繋げている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき適正に実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施。消防計画を策定し、火災予防に取り組んでいる。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	職員による施錠管理をしている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	マニュアルを策定し、事故発生時の対応に備えている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	マニュアルを策定し、災害発生時の対応に備えている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に基づき実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 3
		調査内容	実施はしていないが、申し出や要望等について随時受けられる体制をとっている。	
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で1か月(5月)活動を休止したが、1回当たり参加する人数が増加し、利用実績が前年並みとなったことは評価できる。 ・小規模な施設修繕は、スタッフの作業により行うなど、経費の削減に努めている。 ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、「高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する」という施設の目的に貢献している。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	前沢総合支所市民福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 菊池 利和子	評価日	令和3年6月23日
-------	----------------	--------	--------------	-----	-----------

施設名称	まえさわ介護センター	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	社会福祉法人 つつじ会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	居宅における介護を支援する。（通所介護事業・短期入所生活介護事業・居宅介護支援事業・障害福祉サービス事業）	指定管理料の有無	有
施設概要	デイサービスセンター、ヘルパーステーション、在宅介護支援センター、厨房、ショートステイ居室（30床）等	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	通所介護事業		7,296	6,914	7,314	7,510	
短期入所生活介護事業		8,151	8,067	8,614	9,349	108.5	
	(計)	15,447	14,981	15,928	16,859	105.8	
[利用者の増減理由]							
前沢地域以外の送迎も可能な限り対応し新規利用者や臨時利用者の受入れを積極的に行ったこと、また、空き状況等についてケアマネージャーに定期的に情報提供を行ったことにより利用者の増加につながった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計		R2年度決算額		市直営決算(H25年度)		
収入	指定管理料	7,000,000		7,000,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	188,495,587		188,495,587		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	0		0		その他	13,231,248	その他	20,900	
	雑収入	8,829,122		8,829,122				事業収入	169,246,258	
	計	204,324,709	0	204,324,709		計(A)	13,231,248	計(A)	169,267,158	
	支出	人件費	143,198,254		143,198,254	歳出	指定管理料	7,000,000	人件費	134,271,603
		需用費	28,292,128		28,292,128		委託料	2,434,350	委託料	24,731,192
		役務費	1,332,994		1,332,994		需用費	10,136,937	需用費	19,448,097
		委託料	30,927,598		30,927,598		その他	1,445,608	その他	6,574,810
		使用料・賃借料	5,623,305		5,623,305		計(B)	21,016,895	計(B)	185,025,702
租税公課		0		0	※臨時的	支出(B-A)	7,785,647	支出(B-A)	15,758,544	
その他諸費		0		0		維持修繕費	1,090,063	維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費	1,001,070	
						計(C)	1,090,063	計(C)	1,001,070	
計		209,374,279	0	209,374,279		支出(B+C-A)	8,875,710	支出(B+C-A)	16,759,614	
損益	△ 5,049,570	0	△ 5,049,570							

職員配置	常勤職員	28 人	市の正職員	4 人
	非常勤職員	12 人	市の臨時・非常勤職員	48 人

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	68.4 %	R2年度指定管理者損益	△ 5,049,570 円	評価
	利用者一人当たりの指定管理料/利用者数	415.2 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	415.2 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	---------	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額]	7,972,897 円		評価	
	指定管理前と比較すると行政効果は表れているが、築22年が経過した施設であることから、行政効果額には反映されない維持修繕費等の臨時的費用の増加が今後も見込まれる。	[行革効果額の積算根拠]				
			R2	R1		比較
		直営支出額	15,758,544	15,758,544		0
		市支出額	7,785,647	7,392,165		393,482
効果額	7,972,897	8,366,379	△ 393,482	3		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設を適正かつ円滑に管理すること。 指定管理者が有する能力を活用しつつ、地域住民等に対する福祉サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図ること。	○		3
自主事業	介護センターまつりの開催	△	新型コロナウイルス感染防止のため開催できなかった。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	法人職員で清掃業務を行っている。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	蛍光灯を間引きし、こまめに消灯する等、節約に努めている。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	隣接する市の管理施設と合わせ、共同管理を行っている。	○		
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平中立なケアマネジメントの確保に関する説明を行っていることを確認した。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報誌を定期的に発行し、家族・関係機関へ配布していることを確認した。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各部署の責任者を中心に適切な対応がされていることを確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	各部署から施設長へ速やかに報告され、迅速な対応がされていることを確認した。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	毎年実施している介護センターまつりについては開催できなかった。	新型コロナウイルス感染防止のため。		△
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。			○
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	基本協定書第17条及び独自の基本規定等に基づき適切に実施されている。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	休日及び夜間についても日直当直により安全が確保されている。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	初期対応や家族への連絡が適切に行われており、報告書を作成して情報共有し、再発防止に努めている。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	防災計画書及び緊急連絡網が整備されている。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	複合施設であることから隣接施設との合同訓練を実施した。水害想定での避難訓練については職員で実施した。	○		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価 コロナ対策と入員不足により定期的な提供は困難であったが、可能な範囲で散歩に出かける等、気分転換に努めている。日々のレクでは、内容が工夫され楽しく活動しており、入浴でも菖蒲湯やゆず湯等で季節毎の行事を楽しむことができている。また、コロナ対策で支援が困難となった県外の家族や在宅での看取りを希望する家族によく対応している。		
	苦情・改善要望等	短期入所者の中には、コロナ対策としてのマスク着用・パネル設置・居室への行き来の回避等について理解いただけない利用者もあり対応に苦慮した。	3	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	年度途中の退職者がおり、職員不足でありながらも業務応援をしながら、さまざまな工夫を凝らして稼働率向上に取組んだことにより利用実績は前年度比5.8%の増となった。施設は築22年が経過していることから修繕箇所や消耗機器備品等の経費増加により損失が生じているが、各部署で経費削減とサービス向上に向けた取組みを積極的に行い、利用者の満足度アップに向けて努力している。	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	施設の老朽化に伴う適切な施設管理を継続して行う。また、職員の資質向上に努め、個々のニーズに応じたサービス提供に努める。	施設の保守点検結果をもとに修繕等を行い適切な維持管理に努めた。職員委員会活動を積極的に進め、職員が共通理解のもと連携を図りながら業務にあたるよう努めた。	適切な施設管理を継続して行う。利用者アンケートの実施。更なる職員の資質向上と個々のニーズに応じたサービス提供。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	胆沢総合支所健康福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 平澤 真由美	評価日	令和3年7月7日
-------	----------------	--------	--------------	-----	----------

施設名称	胆沢高齢者総合福祉施設めくもりの家	施設所在地	胆 沢 地 域
指定管理者名	社会福祉法人胆沢やまゆり会	公募・非公募の別	公 募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継 続
施設設置目的	高齢者福祉サービスを提供する	指定管理料の有無	無
施設概要	特養ホーム50床、短期入所施設10床、デイサービスセンター40人、認知型高齢者グループホーム9床	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	特養(50床)、グループホーム(9床)	59	59	58	59	101.7	
短期入所(10床)	3,794	3,701	3,754	3,606	96.1		
(計)	3,853	3,760	3,812	3,665	96.1		
〔利用者の増減理由〕 ・短期入所施設の利用者が減少したが、新型コロナウイルス対策のため空きベッドの活用を調整したことと、例年より家族の外出目的の利用が少なかったことが影響したと思われる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)		
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料		使用料	
	利用料金	559,373,395	25,405,120	584,778,515		賃貸料		賃貸料	
	自主事業	0	0	0		その他		その他	
	雑収入	2,604,177	103,019	2,707,196		計(A)	0	計(A)	0
	計	561,977,572	25,508,139	587,485,711	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	
	人件費	348,529,946	20,036,189	368,566,135		委託料		委託料	
	需用費	71,541,723	714,161	72,255,884		需用費		需用費	
	役務費	2,878,562	508,015	3,386,577		その他		その他	
	委託料	31,907,946	6,360,116	38,268,062		計(B)	0	計(B)	0
	使用料・賃借料	5,768,554	414,854	6,183,408		支出(B-A)	0	支出(B-A)	0
施設整備費	7,158,900	3,113,000	10,271,900	歳出 ※臨時的		維持修繕費		維持修繕費	
その他諸費	16,216,276	1,475,230	17,691,506			備品購入費		備品購入費	
計	484,001,907	32,621,565	516,623,472		計(C)	0	計(C)	0	
損益	77,975,665	△ 7,113,426	70,862,239	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員	53 人			市の正職員		0 人		
	非常勤職員	54 人			市の臨時・非常勤職員		0 人		

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	584,778,515	0	584,778,515

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	72.0 %	R2年度指定管理者損益	70,862,239 円	評価
-----------	--------------------	--------	-------------	--------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	---	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕			0 円	評価
	当初から公設民営化の手法をとっており、指定管理以降行政には負担を生じていない。		〔行革効果額の積算根拠〕				
				R2	R1	比較	
			直営支出額	0	0	0	
			市支出額	0	0	0	
効果額	0	0	0	3			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者総合福祉施設の運営	○		3
自主事業	(1) 地域住民と施設利用者のふれあい交流の場を目指す健康フェスティバルと連携したイベントの開催 (2) 地域に密着した独自のふれあい交流事業の実施 里孫交流活動、七夕まつり (3) 自立支援・介護予防に資する介護予防支援の実施 胆沢地域包括支援センターの運営	△	(1)及び(2)については新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった。 (3)については奥州市からの新規受託事業として実施した。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守、点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により、的確に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	デマンド監視装置を設置し使用電力の節減に努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	専門業者による樹木等の管理が行われていた。	○	
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	報告書により、利用者の公平性の確保が図られていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報を活用して周知を図ったことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルは丁寧な対応がとられていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情や問い合わせに対し、迅速な対応がとられていることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画していた外部との交流事業は実施できなかったが、施設の行事を実施した。	△	
施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	協定書に従い報告を受けている。	○		
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報に関する基本方針に法に、適切に実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により、利用者の安全を確保していることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていたことを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を2回実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	実施の有無	有		評価
	利用者アンケート	調査内容	利用者とその家族に夕愛するアンケート(回答率: 288/536人、53.7%)	
		調査結果	・殆どどの質問で過半数以上が「満足」、「普通」という回答であった。 ・特別養護老人ホーム入所家族からオンライン面会に対して「不満」という回答が他施設より多かった。	
	要望・苦情等	良好とする評価	・イレギュラーな対応や心遣いに感謝します。 ・相談事や希望にすぐに対応していただいています。	
		苦情・改善要望等	・食事の時間があまり遅れないようにお願いします。 ・オンライン面会は現地でなくリモートを希望します。 ・家族も高齢なため、面会工夫をお願いします。	
3				

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	3
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者として適切な事業運営に当たっているものと評価する。 ・利用者とその家族からの職員や施設に対する信頼は、アンケートの共通事項の職員の接遇や施設の雰囲気に対する質問で過半数が「満足」しているとの結果がでており、評価できる。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
			特になし

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	衣川総合支所市民福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 千田 福子	評価日	令和3年6月15日
-------	----------------	--------	-------------	-----	-----------

施設名称	瀬原交流館	施設所在地	衣川地域
指定管理者名	瀬原交流館運営委員会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域の高齢者に対し、宅老事業を実施することにより社会的孤立感の解消を図るとともに、地域住民との世代を超えた交流を図る。	指定管理料の有無	無
施設概要	多目的ホール（和室）、小ホール（和室）、調理室、多目的室（洋室）、図書室	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	利用者数		1,093	1,109	910	319	
							2
	(計)	1,093	1,109	910	319	35.1	
[利用者の増減理由] 今年度においては、新型コロナウイルス感染症対策によりイベント実施及び施設利用の自粛要請がされた影響により利用者減が顕著であった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	2,300		2,300		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	0	その他	0	
	雑収入	221,004		221,004						
	計	223,304	0	223,304		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0		0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	223,304		223,304		委託料	0	委託料	180,000
		役務費	0		0		需用費	0	需用費	0
		委託料	0		0		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料	0		0	計(B)	0	計(B)	180,000	
租税公課		0		0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	180,000		
その他諸費		0		0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	107,877	維持修繕費	0	
計		223,304	0	223,304		備品購入費	0	備品購入費	0	
				計(C)	107,877	計(C)	0			
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	107,877	支出(B+C-A)	180,000			

職員配置	常勤職員	0 人	市の正職員	0 人
	非常勤職員	0 人	市の臨時・非常勤職員	0 人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	49,800	47,500	2,300

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	%	R2年度指定管理者損益	0 円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額] 180,000 円			評価
	[行革効果額の積算根拠]						
	指定管理導入前は年間180,000円で管理委託していたが、指定管理導入後、現在は指定管理料無しの取り扱いとし、市の財政面で効果があった。		R2	R1	比較		
	直営支出額	180,000	180,000		0	3	
	市支出額	0	0		0		
効果額	180,000	180,000		0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、施設の使用に係る利用料金の収受・減額又は免除・還付に関する業務、施設等の維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	地域住民活動（婦人会親睦活動、子ども会活動、高齢者サロン活動、三世代交流会など）	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、予定していた三世代交流会を中止した。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適時点検がなされ、修繕箇所発見時には市へ報告が行われた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	随時、目視点検や試運転を行い適切に管理されている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	使用後の掃除に加え、年3回(5月、9月、12月)の全館清掃が行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	館内掲示等で利用者にも節水・節電の協力を求めるなど、省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	賠償責任保険（自治会保険）に加入していることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適宜、環境整備がなされていた。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に執行されていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	チラシの班回覧や防災無線等により周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等はなく、適切な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者からの苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	施設設置目的に適した地域活動を実施している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	定期的な報告がなされた。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適正に個人情報の管理がなされていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	消火器の設置のみ(任意)	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	—	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応マニュアルを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防署と協議し、避難訓練を中止した。	△	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 3
		調査内容	—	
	調査結果	—		
	要望・苦情等	良好とする評価	なし	
		苦情・改善要望等	なし	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の財産として、地域交流を取り入れた利用がされており、今後の取り組みにも期待できる。 ・地域に密着しているため、使用許可申請の受付及び許可業務及び施設管理等の対応は迅速であり、評価できる。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性が薄い。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし